

■原駒子 俳優。少女時代に奉公先の縁で拔擢されるや、花形女優、トップの座保つも、2度引退、のちバーを経営。

はらこまこ
韓国併合・・・1910＝ 横浜市翁町の生れ。父は無声映画時代の弁士原天波。本名倉形駒子。

明治天皇没・・・1912＝ 2歳：

ベル仁条約・・・1919＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝11歳：

関東大震災・・・1923＝13歳： 小学校を卒業直後に出された奉公先が松竹蒲田撮影所の俳優兼監督の六車修の家で、撮影所の構内に住居があった。駒子は毎日撮影を眺め、時には子供を背負ったまま群衆の一人としてカメラの前に立ち、

護憲三派圧勝1924＝14歳： 関東大震災で蒲田撮影所は損壊したため、駒子は六車一家とともに京都へ行く。
*蒲田撮影所が復興、所員は蒲田へ戻ったが、駒子は子守の生活に戻るのを嫌い、下加茂撮影所の大部屋にもぐり込み女優の卵となり、芸名を原駒子とした。「落日の夢」に拔擢され、女優としてスタート。続いて準主演級で数本の作品に出演。一人前の女優として扱われた。帝キネ・東邦映画を経て東亜キネマ等持院撮影所に入社。片岡長正や市川小文治とコンビを組み東亜キネマの花形女優となった。

円本時代始・・・1926＝16歳： *とくに、3社競作の「鳴門秘帖」全7編に共演、女スリ見返りお綱にふんし、堂々の好演技を見せて、これをきっかけにヴァンプ女優、姐御女優と呼ばれて新たな人気を獲得、以後、トップ女優の座を保ち続ける。

共産党事件・・・1928＝18歳：
世界恐慌・・・1929＝19歳： *嵐寛寿郎が東亜キネマに入社すると、共演作品が続けざまに制作され、「右門捕物帖」「鞍馬天狗」シリーズに出演。光岡竜三郎門下の羅門光三郎と共演したのが縁で、結婚。しかし東亜キネマは倒産、多くの映画会社をめぐり歩く。その間に相手役をつとめた俳優は阪東妻三郎・嵐寛寿郎・片岡千恵蔵・市川右太衛門・長谷川一夫らのトップスターばかりだった。出演作品の数も膨大。

満州事変・・・1931＝21歳：
五一五事件・・・1932＝22歳： 羅門光三郎と{富国映画社}を設立するも、
国際連盟脱退1933＝23歳： 活動停止し、
帝人疑獄事件1934＝24歳： 離婚。

日中戦争始・・・1937＝27歳：
大政翼賛会・・・1940＝30歳： *古巣の松竹下加茂に戻り、溝口健二監督の「芸道一代男」に脇役で出演したのを最後に、映画界から引退。

日米開戦・・・1941＝31歳：
戦時中は、旧満州ハルビンで{元禄}というバーを経営。

敗戦・・・1945＝35歳：
新憲法公布・・・1946＝36歳：
新憲法施行・・・1947＝37歳： 京都市へ引揚げてきた。

三大事件・・・1949＝39歳： 大映「大江戸七変化」に出演して復活したが、

独立回復・・・1951＝41歳：
マデラ事件・・・1952＝42歳： 溝口健二監督「西鶴一代女」に出演したのを最後に再び引退、

55年体制始・・・1955＝45歳：
のち大阪の北の新地にバーを経営。

安保闘争・・・1960＝50歳：

東京リベンジ 1964＝54歳：

震ヶ関ビル・・・1968＝58歳： 急性肺炎で没した。